

やまがら

広報

No.784

2026年(令和8年)

8.1

1975年(昭和50年)4.1創刊

夏本番!

元気いっぱい水遊び



もん蛇まつり



大蛇担ぎ手大募集中

みんなで大蛇パレードを盛り上げようにゃ!

大蛇の担ぎ手を募集しています。
希望される方は、各集落区長さんへ
申し込みください。

■対象者 中学生以上

■申込期限 8月7日(金)

■問い合わせ

大したもん蛇まつり実行委員会
(総務課内)

☎ 64-1476



7年ぶりに 小大蛇パレードが復活!!

■対象者 園児・小学生

■申込期限 申込不要

■集合場所 コラッシュ駐車場

パレードコースを以前から大幅に縮小しました。
お気軽にご参加ください。

第36回

大した

8月28日(金)、29日(土)、
30日(日)

28_金

安全祈願祭

と き
17時30分～

ところ
蛇喰・おりのの碑広場



29_土

花火大会

夏の風物詩「花火大会」

と き
19時15分～

ところ
高瀬温泉周辺



お笑いステージ

今年も大したもん蛇まつりにケビンスが駆けつけてくれます。ケビンスの山口コンボイさんは、村の観光大使を務めています。



ケビンス

30_日

大蛇パレード

1番の目玉! 世界一の大蛇パレード

大蛇パレード

と き 9時00分～11時00分頃
コース

高瀬温泉 → ケアハウス前 → 上関
本村 → 道の駅関川 → 役場

小大蛇パレード

と き 10時15分～10時30分
コース 道の駅関川 → 役場

出 店

と き 9時30分～
ところ 役場前駐車場

お笑いステージ

と き 11時30分～
ところ 役場前駐車場

福まき

と き 12時00分～
ところ 役場前駐車場

* 楽しいまつりにするために *

- ◆パレードコース内の沿道への駐停車はご遠慮ください。
- ◆パレード中は、係員の支持に従ってください。

川をよく知ろう！ ～ 急な増水に備えて ～

川で遊ぶときは、必ず下記のチェックは忘れずに！

夏の暑さが本格的となってきたこの時期、川に出掛ける機会が増えることが予想されます。川での楽しい釣りや水遊びも、時に急な増水で水難事故につながる場合があります。川で遊ぶときには、遊ぶ場所とその上流部の河川水位や降雨状況、土砂災害危険度をあらかじめ確認しましょう。

また、雨が降り始めたり水かさが増えたりした場合は、すぐに避難しましょう。

チェック1 サイレンやスピーカーをよく聞きましょう！



ダムでは、降雨などで川の水が増えることが予想されたときのほか、雨天関係なく晴れているときでも事前にダムゲートから放流を行うことがあります。放流を開始する前には、サイレンやスピーカーでお知らせをしています。

放送をよく聞き、放送があったときには、すぐに川から離れましょう。

(例) こちらは、〇〇〇ダムです。ただいまから、ダムの放流を行います。川の近くにいる人は、川から離れてください。



チェック2 川ではこんな場所に注意！



チェック3 こんなときはすぐに避難！



ご家庭にある備蓄品を準備

—— いざという災害時のために ——

過去の大規模な災害事例では、被災すると電気・ガス・水道などのライフラインが途絶えることがあります。途絶えた場合には、復旧まで1週間以上かかるケースがほとんどです。また、道路が遮断されてしまい、支援物資が届かないことや、スーパー・コンビニで食品、飲料水が手に入らないといったケースも想定されます。

ここで紹介する備蓄品は、災害時に避難所へ避難できず、自宅での避難生活乗り切りのための備蓄品の一例です。また、避難所での避難生活を送る中でも自宅を復興するために一時帰宅したときに必要となってくるものです。

備蓄品は、日頃から備えておくことが、その先の安心に繋がります。備蓄品が不足したときには、切らすことなく常にストックがある状態を保ちましょう。



備 蓄 品

【在宅避難に備えた備蓄の必需品（一例）】



防災用品

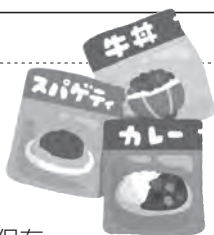
災害時の生活のために備蓄・保管しておくもの。

☐ 非常食

最低3日分×家族分

おすすめの非常食

- 調理が不要な食品（温め不要なカレーライスなど）
- 長期保存が可能な食品（5年程度保存可能なレトルト食品など）



☐ 飲料水

1人1日3リットルを最低3日分、可能なら7日分



☐ カセットコンロ

ガスが使えなくなってしまった場合に備え、カセットコンロと予備のボンベも備えておきましょう。

☐ 簡易トイレ

水洗トイレが使えなくなったときに備えましょう。

☐ 停電対策用品

ろうそく、マッチ、ライター、携帯ラジオ、懐中電灯、石油ストーブ（冬季）

日用品

災害時だけでなく、普段日用的にも使用するもの。日常的に余裕を持って補充することが備蓄品となります。

☐ 乾電池

懐中電灯やラジオ、乾電池式のモバイルバッテリーなどを継続的に使用するための重要アイテムとして乾電池のサイズに応じて必要数を備えましょう。



☐ 薬、救急用品

ばんそうこう、消毒液、処方箋の薬など
ばんそうこうは、切り傷やすり傷の保護のほか、ガーゼや包帯を固定することにも使用できます。

☐ 生活用品

ティッシュペーパー、ウエットティッシュ、トイレットペーパー、生理用品、洗面用具など

☐ 生活用水

断水時に掃除や洗濯などのために、お風呂などに水を貯めておくことは有効です。

※子どもが浴槽に転落する事故につながる可能性があります。そのため、子どもがいる家庭では、風呂の水は抜いておくか、貯める場合でもきれいな水を少量にして、ふたをしっかりと閉めるなど不慮の事故を防ぐための注意が必要です。

問い合わせ 総務課総務班 ☎ 64-1476

道の駅に中華そばもん蛇オープン

村では、旧農物産館

あいさい市の有効活用と道の駅関川への更なる誘客につなげようと、令和8年2月に飲食店（麺類）を公募しました。選定の結果、株式会社あいカフエ（新潟市）が事業者に決定し、「中華そばもん蛇」が7月21日にオープン。オープンを直前に控えた7月上旬、株式会社あいカフエ代表取締役の相原廣さんに応募に至るまでの経緯やオープンに向けての想いを聞きました。



株式会社あいカフエ
代表取締役 相原 廣さん

関川村長
加藤 弘

株式会社あいカフエ

代表取締役 相原 廣さん（78歳）

元々、洋服屋として働いていたが、当時、業界の資本競争が激しいこともあり、業界を離れ、新潟市古町にうどん店「琴平」を開業。その後、「新潟にはラーメン店がない」という思いから、ラーメン屋「だるまや」を開業。これまで、だるまのほかに、万人家、チャーシューや武蔵などラーメン屋を35店舗経営、20億円以上を売り上げる。

相原さんにお話しいただいた内容を抜粋し、掲載します。 ※敬称略

地域活性化のお手伝いを

知人から「ラーメンで、関川村の村おこし」という話があった。

「村おこし」のフレーズが、お手伝いできれば面白いなと思ったことがきっかけ。

知識を活かして関川村に

多くの人を迎え入れたい

関川村は新潟県と山形県の玄関口となると思った。山形のラーメン事情もよくわかるので、山形県民も迎え入れていきたい。

大したもん蛇まつり

知名度を店名に

大したもん蛇まつりから店名を「中華そばもん蛇」と名付けた。村上市や胎内市、新発田市の人は、「もん蛇」イコール関川村と頭にある。店名で、道の駅関川だと覚えてもらえると思った。

中華そばもん蛇

店長 吉田直哉さん



一押しのラーメンは？

にぼしの風味、地元のチャーシューからでる出汁、県内産の鶏ガラからできる「中華そば」。

心掛けていることは？

ラーメンを食べに来てくれるお客さんに、仕込みからも丁寧な仕事を心掛けている。

村民の皆さんに呼びかけたいことは？

関川村に県内外から足を運んでもらい、地域活性化に繋がりたいと思っている。村民の皆さんもぜひお越しください。

見た目はごく普通でも味は絶品の中華そばを提供

鶏ベースで、あつさりしているけど、コクがある。見た目はごく普通な、どこにでもあるような中華そば。でも、食べてみると、やっぱり全く違う。そんな中華そばを提供したい。

具材には、関川産のじゃばみ豚を使用。今後は、村内農産物を使ったメニューの開発にも取り組んでいきたい。



営業時間

10時から15時

定休日なし

「年表で見る関川村の

平成・令和」の見どころ

6月に全戸配付した『年表で見る関川村の平成・令和』は、平成元年から令和7年までの37年分の出来事を年表形式で読みやすくまとめたものです。ぜひご覧ください。

・37年分の年表には村の出来事、地域住民が主催したイベントや全国大会等で活躍した村民、村出身者を掲載しました。施設の竣工記録や日本、世界の出来事と合わせて、当時の振り

返ることができます。

・年表と合わせて、写真とコラムを掲載しました。写真はその年を代表するもので、当時の様子を映し出しています。コラムはその年の出来事を深く掘り下げたもので、村が試行錯誤しながら取り組んできたことなどを記録しています。

・小学校の閉校（平成22年）や新型コロナウイルス感染症（令和2年）、豪雨災害（令和4年）などは

スペースを大きく取りました。

・今では、村を代表するイベントとなった大したもん蛇まつりの記録をまとめ、歴代大蛇の写真を掲載しました。また、村外パレードや受賞歴も記載しました。

・村が平成、令和の37年間、歩んできた挑戦の歴史が感じ取れる内容ですので、ご自身の歩みと重ね合わせてご覧ください。



表紙と背表紙を開くと一枚の写真になります

編集委員インタビュー

編集委員の一人、佐藤忠良（元副村長）さんにインタビューしました

Q 『年表で見る関川の平成・令和』の発刊のきっかけは佐藤さんとお聞きしました。経緯を教えてください。

A 平成四年に発行された『関川村史』の編集委員会事務局長を兼務で努めましたので、その後の出来事を誰かが記録しておかなければと思っていました。そこで長い間、委員を務めている村歴史文化財調査委員会

で情報提供しました。私以外の四人の委員の皆さんは、経験・知識など豊富な方々ばかりですので、それを生かすことが重要だと思いました。

Q 佐藤さんは、コラムを担当されています。特に思い入れのあるものを三つあげるとすれば何でしょうか。

A コラムは編集作業の過程でテーマを決め、



国際ボランティア学生協会が初活動（平成16年）

新たに書いたものです。書いたコラムにはみんな思い入れがあります。しいて挙げれば、一つ目は自分が職員として提案し企画した「むらづくり54作戦」、二つ目は「国際ボランティア学生協会初めて活動」、そして村民大勢がテレビに釘付けとなった「甲子園で村の球児大活躍」です。

Q 村史はどのように使われることを望みますか。

A 村民の皆さんがそれぞれ、人生のあゆみの記録になれば



甲子園で村の球児大活躍（平成21年）

Q 佐藤さんにとって、記録とはどんなものですか。

A 以前、集落の歴史を本にしたとき、佐藤修一前教育長から巻頭の挨拶を書いていただきました。そこに「記憶は風化するが、記録は風化しない」という言葉があります。まさにそれにつきます。

— ありがとうございます。

自分たちが環境のためにできることってなに？

— 小学4年生が環境学習 —

6月26日、小学4年生が環境についての理解を深めました。村のごみ袋製造会社である株式会社バイオマスレジマーケティング（新潟市）の方を講師としてお招きしました。

授業では、村のごみ袋は古米で製造しているため、地球温暖化防止に繋がっていることや、環境ラベルのマークがついたものを使うことが環境にやさしく地球温暖化対策になることなどを学びました。

今回の授業を受けた渡邊芽生さん（上関）は「自分たちが環境にできる優しいことがいっぱいあることを知った。お母さんと買い物に行くときは、マイバックを忘れずに持っていこうと思った。新しいノートを買う時は、グリーンマーク（環境ラベル）がついたものを買うようにしたいです。」と話してくれました。



講師と村の担当職員で説明

歌とおどりの祭典

7月19日、せきかわ笑楽会が、第22回歌とおどりの祭典を開催しました。会場となった村民会館大ホールは、大勢の観客で溢れ、立ち見がでるほどの大盛況となりました。

村内外から集まった120名の出演者が歌やおどりを披露し、会場からはたくさんの拍手が送られていました。

せきかわ笑楽会会長で、総合司会を務めた川又会長は「120名以上の方が参加され、遠いところは新潟市や五泉市から駆けつけてくれました。大ホールは満杯となり、今までで一番の盛り上がりとなりました。」と話してくれました。

来年も7月頃に開催を予定しているとのことです。



郡市操法ポンプ競技会

6月28日、神林農村環境改善センター（村上市）で、郡市ポンプ操法競技会が開催されました。出場した関川村（第2分団）は4位となりました。



村を支える人びと No.8（地域活性化起業人）

渡邊邸活性化をテーマに活動している上之山さんをご紹介します。

関川村の皆さま、はじめまして！今年の3月に「総務省地域活性化起業人」として着任いたしました、上之山 直樹と申します。現在は教育課に所属し、村での生活と仕事に日々新鮮な気持ちで向き合っています。

関川村に来て最初に思ったのは、豊かな自然の美しさと、初めて目にした「国指定重要文化財 渡邊邸」の圧倒的な存在感に対する感動でした。この素晴らしい歴史的遺産を次の世代へ繋ぎ、もっと多くの人に届けたいという想いが、その時強く芽生えました。

着任してすぐに携わったのが、渡邊邸の存続をかけたクラウドファンディングプロジェクトです。全国から寄せられる温かいご支援のメッセージに触れる中で、「この場所は村だけでなく、日本中から愛されている大切な財産なのだ」と強く実感し、身が引き締まる思いでした。

この大切な渡邊邸を、ただ守るだけでなく、もっと多くの方々に楽しんでいただける「より開かれた、魅力的な施設」にすることがこれからの私の目標です。今後は、渡邊邸の魅力をまだ届いていない多くの場所や人々に向けて広げていくことや、日々の美しい四季の移ろいといった情報を、リアルタイムで広く届ける発信活動に全力で取り組んでいきます。

まずは、多くの人に愛される、関川村で人気の観光スポットになるよう一歩ずつ取り組んでまいります。「渡邊邸がもっとこうなったらいいな」「こんな魅力を発信してほしい！」といったアイデアやご意見があれば、ぜひお気軽に教えてください。また、村内で私を見かけた際にも「広報見たよ！」と声をかけていただけると励みになります。これからどうぞよろしくお願いいたします！



うえのやま なおき
上之山 直樹（下関・
株式会社ビーエイから派遣）

学校からのお知らせ

今月は関川小学校からの紹介

【未来のハローワークに参加しました！】

6月23日、6年生が村民会館で行われた「未来のハローワーク」に参加しました。会社や事業所の説明を聞いたり、体験活動をしたりすることで、「仕事」への理解を深め、将来へのイメージを膨らませることができました。子どもたちは真剣なまなざしで話を聞き、大事なことや印象に残ったことをメモを取りながら臨んでいました。



【水泳がんばっています！】

6月は、水温や気温が低く、冷たい、寒いと感じることが多かったのですが、7月は気温も高くなり、プールに入る気持ちよさを実感しながら、水泳学習をがんばっています。今年度は、天候にも恵まれ、順調に学習が進んでいます。

また、水泳監視ボランティアの方々のご協力のおかげで、安心・安全に水泳学習を行うことができています。

どうもありがとうございます。



緑をこれからも守るために

緑の羽根共同募金 受け渡し式



小学校のエコJRC委員会の代表3名の皆さん

6月22日に小学校のエコJRC委員会から、6月25日には中学校の生徒会から、それぞれ集まった募金が村長へ手渡されました。

村民の皆さんや緑の少年団などから、あわせて1,128件、286,325円が寄せられました。

寄せられた募金は、森林教育や学校林、緑の少年団育成、植樹祭活動や森林整備など、森を守り、育てる活動に活用されます。



中学校の生徒会の皆さん

ヤシロシステム興業(株)から 大したもん蛇まつりへ

ご寄付をいただきました

6月18日、福祉事業所のヤシロシステム興業株式会社（ハーティプラザ関川・下関）から、大したもん蛇まつりの寄付金として20万円をいただきました。

ありがとうございました。

後期高齢者医療制度のお知らせ

～ 保険料を忘れずに納めましょう ～

後期高齢者医療制度は、加入者一人ひとりから保険料を納めていただいています。ケガや病気になった方を、社会全体で支える制度です。

みなさんに納めていただいている保険料は、ケガや病気をしたときに医療費などの大切な財源となります。

これからも健全な医療保険制度を維持していくため、保険料は期限内に納めましょう。

保険料の納付に口座振替をご利用ください

【保険料を納付書で納めている方（普通徴収）】

納付書で納めている方は、口座振替にすると、保険料の納め忘れの心配や、納期のたびに金融機関に行く必要がなくなり大変便利です。

口座振替への手続きは、指定の **金融機関窓口** に申し込みください。

【口座振替への 手続きに必要なもの】

- 振替口座の預金通帳
- 通帳のお届け印
- 資格情報のお知らせ
または資格確認書

【保険料を年金から納めている方（特別徴収）】

年金から納めている方でも、手続きにより年金からの納付を中止し、口座振替による納付に変更することができます。

口座振替への手続きは、**健康福祉課の窓口** に申し出ください。

※ご家族の口座からの納付に変更した場合、所得税や住民税の申告の際の社会保険料控除は、実際にご負担した方に適用されます。これにより、世帯全体の所得税や住民税の税額に影響が生じる場合がありますので、ご注意ください。

保険料の納付が困難な場合には…

■火災などの災害にあったときや、失業や廃業によって所得が著しく減少したときなど、特別な事情で保険料の納付が困難となった場合には、申請により保険料の徴収猶予や減免を受けられる場合があります。

■健康福祉課では、納付相談をいつでも受け付けています。納付が困難な場合にはお早めにご相談ください。

お喋りは最高のリハビリ!!

坂町病院 リハビリテーション科

言語聴覚士 高橋 卓

暑い夏いがお過ごしでしょうか？

私事です、6月21日に開催された第50回記念関川マラソンに参加してきました。今年で3年連続の参加となりました。当日はあいにくの大雨でしたが、悪天候の中ボランティアの方や沿道で応援してくださった村民の皆様から暖かい声援を受け、約21kmを走りきる事が出来ました。ありがとうございました。関川マラソンでは走り切った後、蔵の味噌汁を飲み、ゆくむで温泉に浸かる事が毎年の楽しみになっています。

これから本題に入らせて頂きます。今回は『喋る』という事について、話をしていきたいと思っています。声を出す事、言葉を話す事は、私たちの気持ちや考えを伝える上で欠かせない大切な行為です。また、喋る事は、単なるコミュニケーションだけでなく、脳と身体との総合力ハビリティにもなり、脳の活性化だけでなく、

発声や呼吸を通して食べる力も鍛えられます。

【会話がもたらすリハビリの効果】

①脳の活性化

相手の話を理解し（情報の処理）、自分の経験や知識を記憶から引っ張り出す（記憶の引き出し）、自分の考えを言葉にする（判断と構築）、相手の表情や空気感を読み取り共感する（感情のコントロール）。これらは、脳の広範囲をフル活用する為、認知症の予防や進行を抑制することが出来ます。

②口腔機能の維持・向上

言葉を発する事は、唇や舌、頬、喉の筋肉を動かす訓練になります。しっかりと動かし、滑舌がよくなり、声が響きやすくなるだけではなく、顔のたるみ予防や小顔効果にも繋がります。

さらに、「嚥む力」や「飲み込む力（嚥下機能）」「咳をする力（防衛機能）」にも直結します。飲み込む力や咳

の力を高めることで誤嚥性肺炎の予防に繋がると言われています。

③精神的な安定と孤立防止

感情を言葉にして他者と共有する事で、ストレスが軽減されます。また、社会的なつながりを感じる事で、うつ傾向の予防やモチベーションの向上につながります。

『喋る』とは、気の置けない友人などと楽しみながらする、とりとめのない話です。リハビリと聞くと、辛い訓練のようなイメージが湧いてしまいがちですが、お喋りと聞くとそのようなイメージにはならないと思います。お喋りは、楽しみながら自然と心身が鍛えられ、認知症や誤嚥性肺炎、孤立などを予防出来る理想的なリハビリとなります。お喋りが苦手な方は、歌を歌う事や朗読でも大丈夫です。日常の中の小さなコミュニケーションを大切にすることが、健康寿命を延ばす第一歩となります。いつまでも楽しくお喋りをして、笑顔溢れる毎日を通しましょう!!

*このコーナーへのお問い合わせは、県立坂町病院へ。

☎ 62-3111

脱炭素推進室から新潟県の取組を紹介—

「こどもエコチャレンジ」に挑戦しよう!!

新潟県では、2050年温室効果ガス排出実質ゼロの実現に向け、将来の担い手となる子どもたちへの普及啓発として、「こどもエコチャレンジ」(*)を実施しています。

(※)新潟県、新潟県生活協同組合連合会、(公財)新潟県環境保全事業団(新潟県地球温暖化防止活動推進センター)、(株)新潟日報社の共同の取組。

- 対象：小学校4～6年生を主な対象者としていますが、何歳でもチャレンジ可能。
- 内容：使っていない電気は消すなど、8つのチャレンジ項目から選び、家庭でできるCO2削減に取り組む。
- 応募：チャレンジ終了後、専用チェックシートを県へ送付。抽選でプレゼントが当たります。
- 締め切り：令和8年9月11日(金)

詳細は新潟県のホームページをご覧ください。

<https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/kankyoseisaku/1215712882187.html>

問い合わせ 脱炭素推進室 ☎ 75-5023



グリーンレールにさん
はじめよう!
こどもエコチャレンジ
2026夏
みんなもどんどんやってみてね!
一緒に「エコチャレンジ」に取り組んで、地球温暖化を防ごう!
次のページにエコチャレンジチェックシートがあるよ。
7日間のエコチャレンジが終わったら、シートを郵便で送ってね!
県のホームページから報告してもOKだよ!取り組み結果は、県のホームページなどで紹介されるよ。
チェックシートを送ってくれた人には抽選で、素敵なプレゼントが当たるよ。
しめ切りは 9/11
特製ノート(10冊入り)、クリアファイル、鉛筆(2本入り)セット 10名
図書カード(1000円分) 20名 お米を原料としたプラスチック「ライスレジン」スプーン100名
こどもエコチャレンジは、新潟県、新潟県生活協同組合連合会と(公財)新潟県環境保全事業団(新潟県地球温暖化防止活動推進センター)、(株)新潟日報社が共同で実施しています。
新潟県 新潟県生活協同組合連合会 新潟県環境保全事業団 新潟日報社



聞いて体験し「仕事」の理解を深める 未来のハローワーク



6月23日、村民会館で、小学6年生と中学生を対象に、第6回未来のハローワークが開催されました。

これは、様々な職業の説明を聞いて、働くことへの魅力を学び、村やそこで働くことの良さを見つけることなどを目的としています。

初めに、ハウジングワーク本田の海野大輔さんが地元の本でつくるおうち「心地よい木の家に住もう」と題し、講演。村の広大な森林を、多様な形で利用促進するプロジェクトについての紹介がありました。

その後は、グループごとに



生涯学習 情報ステーション

広報せきかわ「お知らせ版」とあわせてご覧ください

◆お問い合わせは教育課へ
TEL 64-1491

協力事業所等 ※敬称略

村上市消防本部関川分署、下越生コン建設(株)、関川村森林組合、(株)ハウジングワーク本田、高橋屋観山荘、村上信用金庫、(株)公衛社、社会福祉法人村上岩船福祉会特別養護老人ホーム垂水の里、せきかわ調剤薬局



分かれ、各事業所の仕事内容や村で働く意義などを聞きました。また、専門の機械での薬品詰めや生コン製作体験などを行う事業所もありました。

小中学生からは、「自分の仕事に誇りを持ち、関川を良くしようと取り組む人が多くいた。私もそんな風に関川に貢献できる仕事をしたいと思った。」などと感想がありました。

放課後こども教室 (せきともクラブ)



七夕の天の川を工作
(最近のせきとも)

夏休みイベントを行います

小学校の夏季休業中は、通常のせきともクラブは休みとしていますが、8月10日(月)は、夏休みイベントを行います。

空気の性質を利用した工作づくりとカレーライスづくりを予定しています。

せきともクラブに登録している方には、案内を送付しています。友だちとの夏休みの思い出づくりに、ぜひご参加ください。

大会結果

※敬称略

第44回 新潟マスタース陸上競技選手権大会

- 期日 5月17日
- 会場 高田城址公園陸上競技場
- 成績 400mM85、800mM85
第1位 舩山 勝雄(勝蔵)

日時 8月10日(月) 13時30分

場所 村民会館大ホール

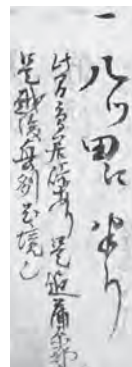
申込 すぐーるのアンケートに回答、または教育課に連絡

問い合わせ 教育課生涯学習班 ☎ 64-1491

まんえん
萬延元年「伊勢金比羅参り道中記」を読む③

吹雪で諏訪峠を越えられず行地で二泊

(村歴史文化財調査委員 渡辺 伸栄)



四日目 十一月二十二日

孫三郎一行の旅、四日目は山内宿から。朝、宿屋に二十五文払って通行手形をもらい、それで山内番所を通過。手形は、宿が発行する旅人の身元証明のようなものです。

次の赤谷からは会津藩領で、ここにも番所があります。四日後の記事で分かるのですが、会津藩領を出る時の為の通行手形をここでもらっています。

次は綱木、そして新谷。さらに南下して行地に着きます。この日はここに泊。宿は山本屋半右衛門、宿賃二百八十文。五日目 十一月二十三日

行地を出ると、今も一里塚が残っています。街道の里程を示す大きな土盛りで、本来は塚の上に大木がありました。その先は標高が514mもある諏訪峠です。長い旅路の最初の、しかも本格的な峠。五人

で気合を入れたことでしょう。

ところが、道中記には「峠、大吹きにて逗留」とあります。現代の暦では一月三日の真冬。猛吹雪で峠を越えられず、行地でもう一泊となったのです。六日目 十一月二十四日

吹雪が収まったのでしよう。この日、峠を越えました。

諏訪峠越えの道は、村上藩や新発田藩の参勤交代に使われた殿様街道ですが、現代では廃道になっています。それでも山道は残っていて、令和五年の歴史館主催古道探索会でここを歩きました。

峠の頂には幕末の志士吉田松陰の石碑が建っています。松陰がここを越えたのは道中記の八年前。まだ無名の青年でももちろん石碑はなく、一行には知る由もないことでした。峠の山地帯を下ると阿賀野川。二十文払って渡し舟で津川へ。河港で栄えた津川の町を通り抜け天満へ。次の野村との間に「橋あり、橋賃九文」とあります。橋賃を取るほど

の川なら常浪川でしょうが、この川、今は天満の前にあります。現代の流路とは違っていたのかもしれない。

野村からは現在の国道49号沿いで、峠を越えて八木山、また峠を越えて福取。二つの峠とも峠名は書いてありません。地図で推測すれば、前の峠は花立付近、後の峠は福取手前の惣座峠になるようです。福取の次は八ツ田で、その先に鳥井峠。ここが越後国と陸奥国の国境。峠を下って宝川に泊。宿は赤岩屋又七、宿賃二百二十文。

旅程は上関から92km程進行、まだまだ旅は続きます。



〈原文と解説等は歴史館に展示、又は、下のQRから〉



図書室の窓から

村民会館図書室

暑い暑い夏本番がやってきました。この夏の過ごし方の参考になる本が図書室にはたくさんあります。ぜひ、涼しい図書室に本を探しに来てください！



親子で読んで

『にぎっちゃだめ!』

チョーヒカル

「やっちゃダメ!」と言われるとついやってみなくなる。ケーキに、トマトに、ほかほかごはん。手にぎったらいっぱいどうなる?を、リアルなタッチで描く、インパクト抜群の絵本です。



おすすめ

『たびたび』

さくら ももこ 著

美しすぎた夏の富良野、大感動&大好きなバリなど、著者が旅してその道中の様子を書いた雑誌「富士山」に掲載されたエッセイを収録。旅の道中のコマを面白おかしく描いています。



今月の図書館バス

2日(日)、22日(土)

虹色と、汽車のメロディーが目印です!

22日(土)は

絵本の読み聞かせ
おはなしの会

GOGO!!食堂(場所:の〜む)で開催!

参加は無料です!

※お昼ご飯を食べる場合、大人は1人300円

読み聞かせは11時00分から始めます。

ブルーベリーのみなさんが贈る、ステキなおはなしの世界。大人の方も大歓迎です!!

毎週水曜日がお休みです。平日13時～17時15分まで、土・日・祝9時～17時まで開館しています。



国際ボランティア学生協会 IVUSA 通信

その後は学生交流会で学生お手製の「関川カルタ」を行い、とても盛り上がりました。

◆派遣隊2日目

2日目は第50回関川マラソンが開催され、雨天にもかかわらず1300名以上のランナーが参加しました。学生は受付や給水、駐車場整備、お味噌汁の配布などで運営をサポートし、ランナーや村民の方々と交流しながら活動しました。

◆関川マラソン派遣隊レポート
関川マラソンの開催に合わせて、6月20日から21日、学生20名で関川村を訪れました。
今回のIVUSAは、当日の様子と、後日行われた報告会の様子をお届けします！

◆派遣隊1日目

初日は到着セレモニーの後、翌日の関川マラソンに向けてパンフレットの封入作業などを、村民の方々と交流しながら行いました。夜には交流会が開かれ、村民の方々と食事を囲みながら、関川村の魅力や日常の話題で親睦を深めました。



大会終了後は会場の片付けをし、村民の方々と昼食を囲みました。最後に隊内で意見を深めるミーティングを実施しました。活動を通して多くの村民の方々と関わり、関川村の魅力や今後について考える、充実した2日間となりました。

◆関川マラソン報告会

7月10日、関川マラソン派遣隊の活動報告会がオンラインで実施されました。報告会では、進行を務めた学生が活動の目的や内容、活動中のミーティングで話し合ったこと、活動後に実施したアンケートの結果を共有しました。

参加した学生からは、「初めて関わる村民の皆さんとマラソン運営を通して交流できた」「関川村の温かさを知ることができた」といった声がありました。



また、継続して関川村に関わる意味について意見を交わし、関川村の魅力は自然だけでなく、村民の皆さんとの出会いやつながりにあることを改めて実感しました。

◆おわりに

今後も交流を大切に、関川村との関係を深めていきます。次は大したもん蛇まつりで関川村に帰ってきます！

関川村包括支援センター通信 120

地域包括支援センター 役場庁舎内1階 ☎ 64-11473

「古い認知症観」から 「新しい認知症観」へ

認知症は誰でもなる可能性がある身近な病気で、高齢化とともに診断される方が増えていきます。国の調査では、65歳以上の約3.6人に1人が認知症またはその予備軍とされています。

皆さんは「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」という認知症に関する法律があることを知っていますか？

これは、認知症になっても自分らしく、希望を持って暮らせる社会の実現を目指して作られたものです。そして、この法律に基づいて作られた「認知症施策推進基本計画」には、国民一人一人が認知症を自分事として考え、「新しい認知症観」に立つことが重要と示されています。認知症になっても、認知症でない人と同じように感情や意思があり、自分のことを自分で決める権利があります。「認知症だから聞いても意味がない」ではなく、「新しい認知症観」に立つて、まずは認知症の方の声にしっかりと耳を傾けてみてください。



古い認知症観

- 1 認知症は他人事、自分には関係ない
- 2 認知症になると何も分からないし、何もできなくなる
- 3 認知症の人の声を聴く必要はない、周囲が決める
- 4 認知症は恥ずかしい、周りに言えない
- 5 認知症になると地域で暮らすのは無理 など

新しい認知症観

- 1 認知症を自分事として捉えて向き合う
- 2 認知症になっても分かること、できることがたくさんある
- 3 認知症の人の声を聴く、本人が決める
- 4 認知症でも自分は自分、隠さずオープンに
- 5 認知症になっても地域で暮らして活躍できる など

戸籍の窓

●6月16日～7月15日までの届出●

お誕生おめでとうございます

きら せ 星ちゃん(男) 久 保
小竹 輝・樹里さん

すえながくお幸せに

{ 河 内 優 大 さん 上野山
(菅 原) 綾 音 さん (胎内市)

ごめい福をお祈りいたします

渡邊マツミ	さん	99歳	小和田
三科 弘子	さん	65歳	高 田
渡邊 節子	さん	71歳	小和田
高橋 辰男	さん	89歳	高 瀬
松田 キヨ	さん	96歳	上土沢
梅津榮太郎	さん	92歳	打 上

広報に載せてほしくない方は届出の際、窓口にお申し出ください。

人の動き

令和8年6月末現在 ()は前月対比

世 帯 数	1,779世帯(－2)
総 人 口	4,458 人(－9)
男	2,133 人(－4)
女	2,325 人(－5)
(転入 3人 転出 5人)	
(出生 0人 死亡 7人)	

編集室から

▶大したもん蛇まつりが近づいてきました。去年は初めて大蛇の追っかけをして、猛暑の中とても大変でした。まつりを終え帰宅後、キンキンに冷えた部屋で食べたアイスの味を今でも覚えています。今年もこれを楽しみに頑張りたいと思います。(さ)

二十歳を祝う会 8月15日(土)開催

現在、開催に向けて準備を進めています。
対象の方には、7月7日に文書を発送しました。
友だち同士で誘い合わせのうえ参加してください。
大勢の参加をお待ちしています！

対 象 者

平成17年4月2日から平成18年4月1日生まれ
で、次のいずれかの要件を満たす人

- ◆令和8年7月1日現在、関川村に住所がある人
- ◆関川小・中学校を卒業した人
- ◆満15歳時、村上中等教育学校に通学し、関川村に住所があった人
- ◆そのほか村長が認めた方



▲昨年の三十歳を祝う会のようす

大里峠大蛇伝説

～関川村大蛇伝説より～

関川村に伝わる悲しい伝説を、家族の視点から描く全編関川村ロケ、「劇団世希Ⅱ」が自然のなかに溶け込む迫真の演技で大蛇伝説を描きます。

「大里峠悲話」DVD 51分 ¥2,000

取扱い 道の駅ちぐら・ゆ〜む・関川村公民館・関川る〜む
問合せ ビデオプロダクション サン企画 0254-62-5555

▶こちらには有料広告です

大したもん蛇まつり に向けて

大里峠伝説を語り継ぐ

川又政男さん(鮎谷)が小学校4年生に伝説紙芝居「大里峠」を披露しました。

これは、毎年4年生を対象に総合的な学習で取り組んでいる、ふるさと学習の一環として行われたものです。



初めて担ぐ 大蛇の担ぎ手に向けて

7月22日、中学校1年生を対象に大蛇講習会を行いました。

大したもん蛇まつりの由来や、語り継がれる大蛇伝説について説明し、まつりへの興味を深めました。

その後は、本番に向けて大蛇を担ぐ練習。危険を感じたらすぐに手を離すようにするなど、当日の注意事項も一緒に確認しました。



フォトギャラリー



水の冷たさに思わずみんなニッコリ

わが家の 人気者

たか ひさ
鷹久くん(5歳)

小山 岳さん 博美さん(下川口)



可愛いものが大好きで、少し照れ屋です。いつもと違った人が多い場所だと力を発揮できない事もありますが、少しずつ自分なりに頑張って出来る事を増やしていける頑張り屋さんで、家ではお家のお仕事やお料理を沢山してくれる優しい子です。